

安全データシート

OSHA HCS対応

作成日：2023年5月18日
国内規制有効日：2024年4月 1 日

作成日：2016年1月15日
改訂日：2020年12月10日

1. 製品名および会社情報

製品名： RapidFix Adhesive (液体)
物質/混合物の用途： 混合物

販売会社
会社名：株式会社ユニテック 電話：06-6535-7730
住 所：大阪市西区立売堀3-5-12 FAX：06-6535-7740

2. 危険有害性の要約

物質/混合物の分類



GHS07

皮膚の炎症 2	H315	皮膚に炎症が起きる
目の炎症 2A	H319	目に重篤な炎症が起きる
STOT SE 3	H335	呼吸器官に炎症が起きる
	H227	可燃性液体

67/548/EE指令または1999/45/EC指令による分類：



炎症
目、呼吸器官、皮膚に炎症が起きる

ヒトと環境に対する有害懸念物質に関する情報： 国際法規にもとづく計算手順により、本製品にはラベルを付けなければならない。

分類システム：最新版の国際的物質リストにもとづき分類を行い、企業から文献データにまで拡大した。

ラベル要素

GHSラベル要素：GHSにより、本製品分類され、ラベルを貼る。

危険有害性絵文字



GHS07

注意喚起語：

ラベルの有害性決定部品

危険有害性説明：

注意説明

警告 (Warning)

エチル2-シアノアクリル酸

可燃性液体、皮膚の炎症を起こす、目に重篤な炎症を起こす、呼吸器官に炎症を起こす可能性がある

炎や表面の熱い物から遠ざける。禁煙

ほこり、煙、ガス、噴霧、蒸気を吸わないようにする

保護手袋、保護メガネ、顔用保護マスクを着用する

使用後は、製品を完全に洗い流す

屋外または十分に換気がされた室内で使用する

目に入ったら：

数分間、水で慎重に洗い流す。コンタクトレンズをしていて簡単にはずせるならはずす。水を流し続ける。特別な処置(このラベルを参照すること)

吸い込んだら：

患者を新鮮な空気のもとに連れて行き、呼吸しやすい体勢で休憩させる。気分が優れない場合は、病院に行く。

皮膚に痛みがあるなら：

病院に行く。

目の痛みが続くなら：

病院に行く。

火事の場合：

CO2、粉末、水噴霧の消火剤を使う。

皮膚に付着したら：

十分な水で洗う。汚れた衣服を脱ぐ。それを再び着用する前に洗濯する。倉庫には鍵をかける。

十分に換気された場所で保管する。容器をしっかりと密閉する。

涼しい場所で保管する。

地域、地方自治体、国家、国際規制に従って、本製品や容器を廃棄する。

保管：

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

廃棄： 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

分類システム：NFPAレート(0～4段階)



健康有害性=1
燃焼危険性=2
反応危険性=0

HMISレート(0～4段階)



健康有害性=1
燃焼危険性=2
反応危険性=0

その他の危険有害性

PBTとvPvB評価結果

PBT：該当外

vPvB：該当外

3. 組成および成分情報

化学的特性：

混合物

詳細：

非有害添加物を伴う、下記物質の混合物

危険物質	7085-85-0 エチル2-シアノアクリル酸	50～100%
------	-------------------------	---------

4. 応急措置

吸入した場合：

新鮮な空気を与える。病状がある時は、病院に行く。

皮膚に触れた場合：

すぐに水と石鹼で洗い、完全に洗い流す。

目に入った場合：

数分間、目を開けたまま、流水で洗い流す。症状が継続する場合は、病院に行く。

飲み込んだ場合：

水で口をすすぎ、すぐに病院に行く。

急性または後発に関わらず、重篤な症状や現象：追加の関連情報は無し。

緊急に医師診断を受ける、または特別な処置が必要な場合の兆候：追加の関連情報は無し。

5. 火災時の措置

消火媒体

適切な消火剤：CO₂、消化粉末または水噴霧。火が大きい場合は、水噴霧または耐アルコール性泡沫。

物質/混合物から発生する特別な危険有害性：追加の関連情報は無し。

消防士への助言

保護具：特殊な方法は不要。

6. 漏出時の措置

個人向け注意、保護具、救急措置：不要。

環境への注意：

本製品が下水道やその他すべての水路に侵入することを防ぐ

封じ込め、洗浄する方法と物質：

液体結合物質（砂、珪藻土、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず）で吸収する。必ず、適宜換気する。

参照すべき他項：

安全な取扱方法については、項目7を参照のこと

個人保護具については、項目8を参照のこと

廃棄方法については、項目13を参照のこと

7. 取扱いおよび保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

作業場の換気や排気を十分に行うこと。エアゾールが形成されないようにすること。

爆発や火事からの保護方法：火気や火花を発生する設備の付近で使用しない。

不適合性を含み、安全に保管する条件

保管場所と容器の条件：直射日光が当たる場所や高温となる場所を避ける。

共通の保管施設一カ所で保管する場合の情報：不必要。

その他の保管条件：容器をしっかりと密閉すること。

最終使用方法の特定：追加の関連情報は無し。

8. 暴露防止および保護措置

技術システム設計に関するさらなる情報： 追加データ無し。項目7を参照のこと。

防止パラメーター

作業場での監視が必要な限界値のある部品：	7085-85-0	エチル2-シアノアクリル酸
	TLV	長期値：1 mg/m ³ 、0.2 ppm

暴露防止

一般的な保護方法と衛生方法：

食べ物、飲み物、家畜用飼料から遠ざけること。
汚れて汚染された衣服はすべてすぐに排除すること。
休憩前や作業終了後には手を洗う。
目や皮膚に触れないようにする。

呼吸器具：

暴露が短時間である時や汚染度が低い時は、呼吸器用フィルターを使用すること。暴露時間が長くひどい場合は、循環エアーが独立した呼吸器保護具を使用すること。

手の保護：



保護
手袋

不浸透手袋。手袋の材質は、不浸透性で、本製品や本製品成分、調合品に耐性のあるものでなければいけない。浸透時間、拡散率、劣化率を考慮して手袋の材質を選定すること。

手袋の材質：

材質だけでなく品質にも注意して、適切な手袋を選定します。メーカーによって材質や品質は多種多様です。本製品には、数種類の物質が調合されているので、手袋の材質の耐性を事前に計算することができません。よって、使用する前に都度確認する必要があります。

手袋の材質の浸透時間：

保護手袋のメーカーが正確な破損時間を認知しなければいけないし、それを遵守しなければいけない。

目の保護：



しっかり密着するメガネ

9. 物理的および化学的性質

基本的な物理的・化学的特性

外観	形：	液体
	色：	無色
臭い	：	特徴的
臭気限界	：	決まっていない
pH値	：	決まっていない
状態変化	融点/融点範囲：	決まっていない
	沸点/沸点範囲：	決まっていない
引火点	：	87℃(189℉)
可燃性（個体、ガス）	：	該当外
発火温度	分解温度：	決まっていない
自動発火	：	本製品は、自動発火しない。
爆発の危険性	：	決まっていない
爆発限界	下限：	決まっていない
	上限：	決まっていない
蒸気圧力	：	決まっていない
比重	：	決まっていない
蒸気密度	：	該当外
蒸発率	：	該当外
水溶解性/水混和性	：	混和しない、もしくは混和しづらい。
分配係数（n-オクタノール/水）	：	決まっていない
粘度	力学的：	決まっていない
	動的：	決まっていない
有機溶剤	：	0.00%
その他情報	：	追加の関連情報は無し。

10. 安定性および反応性

反応性	
化学的安定性	
熱劣化/避けるべき状況	: 仕様通りに使用すれば劣化しない。
有害反応の可能性	: 危険性のある反応は知られていない。
避けるべき状況	: 追加の関連情報は無し。
不適合物質	: 追加の関連情報は無し。
有害な分解生成物	: 危険な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

毒の影響に関する情報

急性毒性	初期炎症	皮膚に触れた場合:	皮膚と粘膜に炎症が起きる
		目に入った場合:	炎症が起きる

過敏性: 感作効果は知られていない。

その他の毒性情報: 社内承認されている計算方法に従うと、本製品には次の危険性がある: 炎症

エチル2-シアノアクリル酸の有毒性情報

急性毒性	経口	GHS分類:	区分外
	経皮	GHS分類:	区分外
	吸入: ガス	GHS分類:	分類対象外
			GHSの定義における液体である
	吸入: 蒸気	GHS分類:	分類できない
	吸入: 粉塵及びミスト	GHS分類:	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		GHS分類:	区分外
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性		GHS分類:	区分2
呼吸器感作性		GHS分類:	分類できない
皮膚感作性		GHS分類:	分類できない
生殖細胞変異原性		GHS分類:	分類できない
発がん性		GHS分類:	分類できない
生殖毒性		GHS分類:	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		GHS分類:	区分3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		GHS分類:	分類できない
吸引性呼吸器有害性		GHS分類:	分類できない

12. 環境影響情報

毒性	急性毒性:	追加の関連情報は無し。
耐久性と劣化性	:	追加の関連情報は無し。
環境システムにおける作用	生体蓄積性:	追加の関連情報は無し。
	土壌内移動性:	追加の関連情報は無し。
その他の環境情報	一般的注意:	水性有害性1級(自己評価): 水に対し、若干有害である。希釈された本製品や大量の本製品が地下水、水路、下水道に入らないようにすること。
PBTとvPvB評価結果	PBT:	該当外
	vPvB:	該当外
その他の副作用	:	追加の関連情報は無し。

13. 廃棄上の注意

ゴミ処理方法	推奨:	国、地方自治体のごみ廃棄基準に従うこと
汚れた梱包容器	推奨:	国、地方自治体のごみ廃棄基準に従うこと

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	DOT、ADN、IMDG、IATA 無し
国連正式輸送名	DOT、ADN、IMDG、IATA 無し
輸送危険区分	DOT、ADN、IMDG、IATA 無し
梱包グループ	DOT、IMDG、IATA: 無し
環境有害性	海洋汚染: 無し
使用者への特別注意	: 該当外
MARPOL73/78とIBCコードの添付IIに準ずるバルク輸送:	該当外
国連「モデル規制」	: -

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法に従う。
航空規制情報 : 航空法に従う。
陸上規制情報 : 消防法、道路法に従う。

15. 適用法令

本製品の物質または混合物を規制する安全、健康、環境に関する規制・法令

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険有害物（第57条、施行令第18条別表第9）
名称等を通知すべき危険有害物（第57条の2、施行令第18条の2別表第9）
リスクアセスメントを実施すべき危険有害物（法第57条の3）

化管法 : 該当しない

毒物及び劇物取締法 : 劇物・除外品目

消防法 : 第4類引火性液体、第三石油類非水溶性液体

法規制情報は作成年月日時点に基づいて記載されております2024年4月1日施行適用。

GHSラベル要素 : 本製品は、GHSによって分類され、ラベルを貼られている。

危険有害性絵文字 : GHS07



注意喚起語 : 警告(Warning)

ラベルの有害性決定部品 : エチル2-シアノアクリル酸

危険有害性説明 : 可燃性液体、皮膚の炎症を起こす、目に重篤な炎症を起こす、呼吸器官に炎症を起こす可能性がある

注意説明 : 炎や表面の熱い物から遠ざける。禁煙
ほこり、煙、ガス、噴霧、蒸気を吸わないようにする
保護手袋、保護メガネ、顔用保護マスクを着用する
使用後は、製品を完全に洗い流す
屋外または十分に換気がされた室内で使用する

目に入ったら : 数分間、水で慎重に洗い流す。コンタクトレンズをしていて簡単にはずせるならはずす。水を流し続ける。特別な処置(このラベルを参照すること)

吸い込んだら : 患者を新鮮な空気のもとに連れて行き、呼吸しやすい体勢で休憩させる。気分が優れない場合は、病院に行く。

皮膚に痛みがあるなら : 病院に行く。

目の痛みが続くなら : 病院に行く。

火事の場合 : CO2、粉末、水噴霧の消火剤を使う。

皮膚に付着したら : 十分な水で洗う。汚れた衣服を脱ぐ。それを再び着用する前に洗濯する。倉庫には鍵をかける。
十分に換気された場所で保管する。容器をしっかりと密閉する。
涼しい場所で保管する。
地域、地方自治体、国家、国際規制に従って、本製品や容器を廃棄する。

化学物質安全性評価 : 化学物質安全性評価は実行されていない。

16. その他の情報

ここにある情報は、弊社の現在の知識にもとづくものである。しかし、それらは、製品のいかなる特性も保証せず、また法的に有効な契約関係を構築するものでない。

注) この化学物質等安全データシートは英語からの翻訳であり、万が一訳し間違い等があった場合は、原文を正しいものとみなします。